

令和7年度 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」
(地方ステージ 近畿ブロック)

- [主 催] 独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立曽爾青少年自然の家
- [期 日] 令和7年12月20日(土)
- [場 所] 神戸市教育会館
- [目 的] ものごとを探究する姿勢、主体的な態度、課題に向き合う力を身につけるとともに、郷土や自然に愛着を持ち自ら行動する高校生を育成する
- [対象/参加] 奈良県立添上高等学校(グループ部門1、個人部門1:計3名)
兵庫県立洲本実業高等学校(グループ部門4:計11名)
- [担 当] 増田学(企画指導専門職)、森岡亮平(企画指導専門職)、
小西岳勝(事業推進係)



1 趣 旨

オリエンテーション合宿を通して、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身につけるとともに、地域での実践活動においては、多様な人々と協働しながら地域・社会にある課題解決に向けた取組を行うことで、郷土や自然に愛着を持ち、新たな価値を創造する高校生の育成を目的としている。また、実践活動を行った高校生が学びや成果を発表する場を設けることにより、体験活動を積極的に行った高校生を学校や社会がしっかりと評価するよう、その機運を高める。

2 プログラム展開

- 9:30～ 受付
- 10:00～ 発表に向けての準備、機器動作の確認(昼食を含む)
- 11:40～ 開会・趣旨説明
- 11:55～ プレゼン発表(発表準備5分・発表7分・質疑応答8分)
- 14:05～ 審査 評価委員: 本郷 真紹 氏(学校法人立命館 理事補佐 特命教授)
蓬田 高正 氏(天理大学体育学部体育学科 准教授)
秋山 洋 (国立曽爾青少年自然の家 所長)
- 14:35～ 評価会(審査結果・講評)
- 15:20～ 閉会式

3 活動の様子



発表の様子



表彰の様子



講評の様子

4 ふりかえり(アンケートより・趣旨やねらいに対してのふりかえり)

- 生徒たちも緊張感と外部とのふれあいがあり、とても有意義でした。普段よりも深く掘り下げられた質問に答えることで、自身の考えの深さなどに気づけたと思います。(教員)
- 提案し、その提案を実現というのは本当にすごいことだと気づいた。審査員の方のアドバイスをいかして、これからも活動していきたいと思いました。(出場者)
- 高校生たちが地域の課題に真剣に向き合い、自らの言葉で学びや想いを発表する姿から、探究する力と地域への愛着が確かに育まれていることを実感した。(担当)